

J A営農指導実践山形県大会

渡辺さん 栄冠 県代表に



果樹産地再興に向けた営農指導を发表する渡辺さん
(山形市で)

Aさくらんぼひがしね、
小関正浩さん(J A山形
おきたま)を選出した。

【山形】J A山形中央
会と山形県J A営農指導
員協議会などは11、12の
両日、山形市のJ A研修
所でJ A営農指導実践山
形県大会と全体研修会を
開いた。実践発表で、J
Aさくらんぼひがしね営
農渉外課主任の渡辺豊さ
んが最優秀賞に輝いた。
渡辺さんは北海道・東北
ブロック大会に県代表と
して出場する。

渡辺さんは「山手地域
こそ果樹大国の礎」と題
し、鳥獣被害と遊休農地
増加で衰退傾向にあった
山手地域の再興に、J A
や行政などと一体となっ
て取り組んだことを発表
した。

後ろ向きになりがちだ
った生産者の意識を前向
きに变え、鳥獣被害対策
と生産振興、生産基盤整

備の「ヤマノミクス3本
の矢」構想を具体化。結
果、猿やイノシシなどの
鳥獣被害が激減した他、
若手農業者を呼び込んで
3・5畝の遊休農地を解
消し、年間販売高約24
00万円の経済効果を生
むなどの成果が表れてい
ると述べた。

渡辺さんは、J A営農
指導員の役割について
「アンテナを高く広く張
り巡らせ、地域や生産者
の総合窓口、パイプ役、
潤滑油となり、現場のニ
ーズや声を的確に感じ取
りながら考え、進めてい
くことが大切」と結んだ。

山形県J A営農指導員
協議会の通常総会があ
り、新会長に庄司健二さ
ん(J A真室川)、副会
長に高橋弘さん(J A鶴
岡)と寒河江仁さん(J